

ヨコハマSDGsデザインセンター

神奈川県横浜市（2018年度選定）

1. 地域の特徴と課題及び目標	横浜市では、11.5万を超える事業所で、約167万人の方々働き、優れた技術・サービスを持つ企業や、最先端の研究開発に積極的に取り組む企業も多く立地しており、産学官連携による共同研究も活発に行われている。 様々な主体と連携し、多様な資源を組み合わせ、イノベーションを創出することにより、環境・経済・社会的課題の統合的解決を目指す横浜型「大都市モデル」の創出を目指す。	2. 関連するゴール	
3. 取組の概要 (三側面をつなぐ統合的取組概要を含む)	ヨコハマSDGsデザインセンターを中心に、様々な主体と連携し、地域特性等に応じた課題解決に向け、企業等の技術や知見等（シーズ）と、地域や企業・団体等が持つ課題（ニーズ）をつなぎ合わせるとともに、課題解決に資する様々なプロジェクトの実施、取組の普及啓発を実施する。また、市内外の企業・市民団体等のSDGs 達成に向けた取組を後押しするため、「横浜市SDGs 認証制度“Y-SDGs”」を構築し、自律的好循環の形成を目指す。		
4. 自治体SDGs推進等に向けた取組 デザインセンター事業 ①相談事業 コーディネーターを配置し会員等からの相談・マッチング等を実施 ②プロモーション事業 講演・視察受入れ、イベント開催など ③企業等との連携により自らも主体となった試行的取組の実施 横浜市SDGs 認証制度 “Y-SDGs” 事業者が、認証制度を活用してSDGsに取り組むことで、持続可能な経営・運営への転換等を目指すことを支援するため、事業者の取組を4分野・30項目で評価し市が認証する制度。	6. 取組成果 デザインセンター事業（2019年1月事業開始～） ①相談事業 相談件数：309件 ②プロモーション事業 講演・視察等87件実施 ③企業等との連携により自らも主体となった試行的取組の実施 累計36事業（2023年度末時点） ・地方創生みらい交流プログラム with 福島県会津若松市 ・食品ロス削減ロッカーに関する取組 等 SDGs認証制度 “Y-SDGs”（2020年8月事業開始～） 累計718事業者を認証（2023年度末時点） 2023年10月 第2回シティネット・ESCAP「SDG都市アワード」を受賞		
5. 取組推進の工夫 認証審査にあたっては、ヨコハマSDGsデザインセンターの中小企業診断士がヒアリングを行うほか、ランクアップの相談にも応じることで伴走支援を行っている。また、金融タスクフォース11社によるワークショップを開催し、Y-SDGs認証事業者の事例等を用いたグループワークや、今後のY-SDGs活用に向けたアイデア等に関する議論・意見交換を実施した。	7. 今後の展開策 Y-SDGs新規認証者数が若干減少傾向にあるため、引き続き認証事業者及びこれから認証を目指す事業者への支援の充実等を図るほか、本制度を活用した市内へのESG投資の呼び込み等を一層加速させるために、金融機関とのさらなる連携強化や認証事業者へのメリットの充実を図っていく。		
8. 他地域への展開状況 （普及効果）	横浜市ホームページ等で、取組を随時地域内外に発信。また、横浜市及びヨコハマSDGsデザインセンターに対し、視察依頼及び認証制度、SDGsロッカー等についての問い合わせを多数いただいている。		